

公表： 令和2年1月17日

事業所名： 多機能型事業所 ミルキーウェイ

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	2	利用人数が多いと、個々のスペースが狭くなってしまう状況もありますが、車椅子に乗ったり、活動ごとにエリアを分けることでスペースを確保できるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	5	2	送迎が集中した時間帯でスタッフが手薄になってしまう時がありましたが、ドライバーや支援スタッフの増員で、現在では改善しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	5	段差があり、移乗の際により気を付けながら介助しています。真木は階段があり、滑り止めを敷くことで転倒防止に努めています。今泉はトイレや入り口が狭く、介助しにくい場面がありますがスタッフ間で声を掛け合いながら介助しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	4		全スタッフで話し合いを行う機会は少ないですが、利用児に関わっているスタッフ間では、支援に対する目標設定、振り返りができています。今後はより多いスタッフで話し合いの場が設ける事が重要だと思っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0		アンケートを実施し、そこで得られた要望などは朝礼時や連絡ノートにて情報共有を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3		スタッフからの自己評価の結果をホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1	第三者委員会は設置していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			事業所主催や各自興味のある研修、必要と思われる研修に参加する機会を設けています。今後、伝達講習の機会を設ける事が重要だと思っております。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		ご家族から事前に要望を聴取し、スタッフ間で話し合いを行った上で個別支援計画を作成しています。送迎時や支援会議の中で保護者の方との情報共有を行うようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	2	現在はアセスメントツールを使用した評価は行えていないが、起きた状況を基に児の適応行動の状態をスタッフ間で情報共有しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	1	話し合いの中でその子の評価を行い、計画の立案を行うことができます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3	1	季節に応じたイベントなどプログラムが固定してしないように工夫を行っていますが、利用児によって利用頻度（毎日利用、週1～2回の利用など）が異なり、固定化してしまうことがあるため、視点を変えたりと工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2	1	長期休暇時は1日を通したスケジュールを考え、個別にスケジュールを使用し、外出の機会などを多く取り入れていきます。また、施設見学などの外出の予定は早期に計画し利用児みんな楽しませていました。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	3		時折、個別対応が必要な利用児があり、個別と集団それぞれ計画しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2		短い時間ではあるが、支援に入る前や時間を見つけて情報共有を行っています。送迎などでスタッフが手薄の時には行えていない現状があった為、毎日ミーティングの時間を確保するようにしました。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	5	2	毎回ではないが、支援終了後にその日の振り返りや気付いたことなどを話し合い、今後の支援に繋げるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	3		児の変化点や気になったこと、症状など毎日の支援の記録を行っています。記録は取れていますが、支援の検証までに至っていないこともあるので、今後記録を基に支援の検証を行っていく必要があると思っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8		1	モニタリングを行う際にスタッフ間でもミーティングを行い、情報交換を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	4	1	ガイドラインに従い、個別、集団それぞれの活動を組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	4		現在は、管理者、担当スタッフが参加しています。医療ケアが必要な利用児には看護師が参加できるよう配慮しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	2		担任の先生とは情報の共有を図るようにしているが、コーディネーターや校長先生とは連絡は取れていません。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	2		今年度、わかりやすい主治医意見書に改正し、利用児それぞれの主治医の先生に記入していただくことで、統一した医療ケアが行えるよう努めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	5	1	できているケースとできていないケースがありますが、事業所から園へ、逆に園から事業所への見学に来てもらうことで、情報共有を図れるよう努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	5		現在の所該当していません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	1	年に数名、療育支援センターへ研修に行き、助言をいただき、支援に繋げています。また、利用児の担当のリハビリスタッフより助言をいただく機会も設けました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	3		図書館への外出や地域の方にも夏祭りを案内し、地域交流に努めています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	2	子ども部会や医療ケア部会に参加し、様々な職種や事業所の方との情報交換や、連携の機会を設けています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		ご家族に対して、送迎時にその日の様子や課題等についてお話をいただいています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		7	2	相談があった時には助言を行っているが、積極的には行えていない状況です。今後ペアレントトレーニングの研修への参加も検討しています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2		契約時に重要事項説明、利用者負担額について説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	3		相談があった際にはお伝えしたり、他のスタッフにも相談してお伝えしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	1	Xmas会にて茶話会としてご家族同士で情報交換ができる場を設けています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		苦情があった際には、ご家族に説明を行い、朝礼などでスタッフへの周知を行っています。また、その際は併せて、担当の相談支援専門員にも伝達を行い、再発防止に繋がっています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2		毎月ミルキーウェイだよりを発行し、行事予定をお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	9			個人の情報は一定の場所に保管し、カルテはカルテ庫に鍵をつけ個人情報に留意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	2		利用児、ご家族ともに接する際には、言葉の使い方や伝わりやすい声かけを心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	2		夏祭りに地域住民の方へ案内を行ったり、地域のボランティアの方に療育のお手伝い（ハーモニカ）をお願いし、地域との交流を図っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4		事業所においての各マニュアルを作成し、保護者が閲覧できるように掲示していますが、周知はできていないようです。また、送迎時は緊急時対応シートを持参し、緊急時に備え対応しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	2		一年間に二回、避難訓練を行い、緊急時の対応の確認を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	6		管理者が研修に参加し、その他スタッフへの周知を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1	1	基本的には身体拘束を行いませんが、やむを得ない場合には個別支援計画書に記載し、ご家族へ了承を頂いています。また利用日毎に記録を行い、体調の変化も観察しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	1	アレルギーのある利用児に対しては主治医意見書にて記入を行ってもらい、わかりやすい場所に注意書きを掲示し、食事提供を行っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3	1	ヒヤリハットが出た際には、朝礼等で周知を行っています。また、改善策を明確にすることで、再発防止に繋がっています。	